

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	<p>支え合いの大切さ普及 【事業費予算 500 千円】</p>
事業目的・概要	<p>令和4年度に行った「支え合い」に関するアンケート調査結果から、中学生から50代までの現役世代において、支え合いの重要性は認識しているものの具体的に行動できていない人が多いことが分かった。この事業では、現役世代を中心として、支え合いに関する行動変容(＝普段から必要なときに能動的に支え合いを行うことができる)を促すためのきっかけづくりに取り組む。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>■「あいさつ運動」街頭キャンペーン 支え合いの行動を起こす際のきっかけとなる“他者への声掛け”を多くの人が自然に出来るようになるため、「毎月5のつく日はごあいさつDAY」をキャッチフレーズとした「あいさつ運動」を行った。</p> <p>(1)日時／実施箇所 ①令和5年10月25日(水)7時～8時 / JR越後線 寺尾駅 ②令和5年11月15日(水)7時30分～8時30分 / JR越後線 小針駅、新潟大学前駅 ③令和5年12月5日(火)7時～8時 / JR越後線 内野駅</p> <p>(2)総動員数 77名(延べ)(①, ②は水野西区長、③には中原市長が参加)</p> <p>(3)チラシ配布枚数 約1,800枚</p> <p>(4)協力団体 五十嵐小学校区コミュニティ協議会、坂井輪中学校区まちづくり協議会、小針小学校区コミュニティ協議会、内野・五十嵐まちづくり協議会、コミュニティ中野小屋、西内野コミュニティ協議会、ほか。</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>【地域課題の抽出方法とその解決策】 令和4年度事業で行ったアンケート調査やワークショップを踏まえ、支え合いの行動を起こせない人が数多くいる現役世代に向けて、行動変容のきっかけづくりとして「あいさつ運動」街頭キャンペーンに取り組むことにした。</p> <p>【成果】 ・「あいさつ運動」のキャッチフレーズ「毎月5のつく日はごあいさつDAY」は、簡潔でわかりやすく、記憶に残りやすいため効果的な広報活動が実現できた。 ・キャンペーンの会場として、人が多く集まるJR越後線沿線駅を選定し、通勤通学の時間帯としたことで対象とする現役世代に効率的に情報を届けることができた。 ・広報媒体として、のぼり旗と名刺サイズのチラシを制作。のぼり旗は運動の目印として効果を発揮し、チラシは手に取りやすいサイズ感が功を奏し多くの方に届けることができた。また、意見や感想コメントを残すことが出来る2次元コードをチラシに表示したことで、双方向コミュニケーションの環境を整えることができた。 ・今回の街頭キャンペーンの実施に際し、コミュニティ協議会など、地域を超えた連携や協働が醸成された。</p> <p>【課題】 ・「あいさつ運動」を一過性の取り組みではなく、地域に定着させるため、地域団体や事業者をどのように巻き込んでいくか。</p>
備考	